

株式会社イマクリエ



株式会社イマクリエが提供するサービスイメージ



代表取締役 鈴木 信吾 様

会社概要

- 本社所在地:〒106-0044 東京都港区東麻布2-3-5 第一ビル2階
- 従業員数:114名
- 事業内容:アウトソーシング事業、コールセンター事業、システム開発事業
- URL:<https://www.imacrea.co.jp/>

お客様から会社や自宅に戻るより、最寄りのサテライトオフィスで提案書や報告書作成を行うことで、隙間時間の有効活用ができました。移動時間が削減され、気持ちに余裕ができたことも良かったと感じています。

また、騒がしいカフェと違い、静かな個室で作業に集中でき、Web会議も行いやすい環境でした。これまで、外出時には電話やチャットでコミュニケーションを取っていましたが、Web会議が容易にできることで、表情を見ながら会話でき、社員やオペレーターの相談内容のニュアンスが伝わりやすくなりました。また、応接スペースや会議室としての活用もできます。モデル実証事業に参加したことで、サテライトオフィス勤務のメリットを発見し、テレワークのさらなる可能性を感じています。

優秀な人材の確保やコスト削減のメリットも

当社の社員・アルバイトの採用担当は和歌山県在住です。面接をWeb上で行うのですが、採用時に困ったことはな

く、それよりもテレワークを活用して働けることにメリットを感じてもらえるため、育児や介護で時間の制約がある人、地方在住の人等、優秀な人材を採用できます。採用された全ての社員がテレワークを行うため、事業所に出勤することがなく、事業所経費の削減にもつながっています。

モデル実証を終えて 見えた課題を整備して テレワーク勤務を拡大したい

モデル実証事業に参加したことで、今後のテレワークの実施に向けた課題が明確化しました。課題としては、社内ルールの整備や勤怠管理・進捗管理等のマネジメント面です。コンサルタントからのアドバイスと参考資料を基に整備し、今後もテレワークによる新しい働き方を積極的に推進していきます。

将来的には、テレワークにより世界各国の人材を採用し、時差を生かした24時間365日対応のコールセンターにしていきたいと思っています。

学術研究、専門・技術サービス業

経営課題

優秀な人材確保とテレワーク制度の知見を求めて

在宅勤務による雇用拡大への可能性を高め テレワークの制度化への理解が深まった

震災による通勤困難を機にテレワーク導入 現在、コールセンター業務も在宅勤務に

当社は日本全国にアルバイトの在宅勤務者を抱えています。主な業務はコールセンターのオペレーションです。もともとは多くの企業のようにオフィスを構えていましたが、2011年の東日本大震災直後、通勤が困難になった社員が多数おり、混乱が落ち着くまで期限付きで在宅勤務を取り入れたことが契機となりました。以来、在宅勤務者が増え、現在では日本全国でコールセンターのオペレーター業務を行っています。本社や支社へ出社するのは、一部の社員が郵便物の受取等、必要性がある時だけで、事業所はいずれも非常にコンパクトとなっています。

現在は日常的に活用しているテレワークですが、導入から時間が経っているため、就業規則やセキュリティ面での強化を図り、より安心して活用できる制度にするとともに、最先端の情報を取得し、その活用方法を知ることにより働きやすい職場環境を構築したいと考え、モデル実証事業に参加しました。

さらに、テレワークの導入を検討中の企業へ行っているコンサルティング事業の幅が広がることにも期待がありました。

既存の運用をベースに サテライトオフィス勤務を追加

モデル実証事業での実証者は、営業1名、営業事務1名、管理者1名の計3名を選定し、週1回以上を目標に在宅勤務、モバイル勤務、サテライトオフィス勤務と全ての形態を実施しました。パソコン、スマートフォン、モバイルWi-Fiは会社から貸与しました。

在宅勤務はもともと取り入れていたこともあり、大きなルール変更は行わず、クラウド*上でコミュニケーションを取りながら、企画書・報告書等の資料の作成に活用しました。モバイル勤務も同様に大きな変更はせずに実施しました。大きな変化としては、これまで利用したことなかったサテライトオフィス勤務を取り入れたことです。サテライトオフィスを利用することで、テレワークで実施可能な業務を増やせる手応えを得ました。

サテライトオフィスの利点を理解 集中した作業に加え、Web会議も容易に

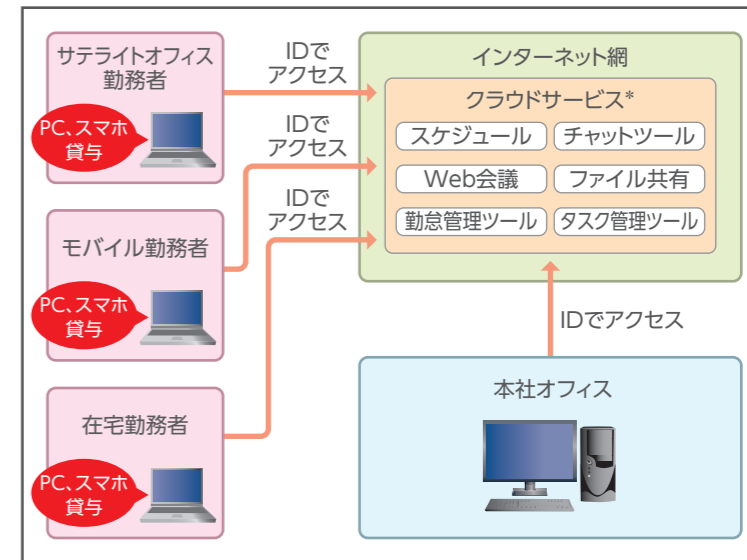
サテライトオフィスは、主要駅に多数あるので、都内近郊を回っている営業担当の社員にとって非常に便利でした。お

解決ポイント



カフェでのモバイル勤務で時間を有効活用

サテライトオフィスで集中して業務を行う様子



経営課題

- 自社で実践してきたテレワーク制度の見直し
- 事業としての発展のためにさらに知見が必要

導入概要

- 管理職・営業職・バックオフィス業務の3名が在宅勤務、モバイル勤務、サテライトオフィス勤務を全て実施
- パソコン、スマートフォン、モバイルWi-Fiを貸与
- サテライトオフィス勤務による提案書作成やWeb会議の有効性の検証

導入効果

- サテライトオフィス勤務によって時間の有効活用が実現
- 優秀な人材の採用や事業所経費削減の可能性を見出した

ADVICE コンサルタントからのアドバイス



モデル実証事業では、サテライトオフィス勤務を新たに活用したことで、提案書や報告書の作成といった業務だけでなく、カフェ等では実施しづらいWeb会議も容易に行うことができ、テレワークのさらなる広がりを実感できました。テレワーク導入をお考えの企業においては、外出先でのデータの取扱いに不安を感じることもありますが、サテライトオフィスというテレワークの方法もご検討されてはいかがでしょうか。個室や会議室もありますので、パソコンをのぞかれる心配がなく、安心して作業ができます。

注釈(*)の用語解説はP57をご覧ください。